

# 上越市と御所市 売葉がとりもつ縁

奈良県明日香村在住  
三光丸クスリ資料館館長 浅見潤

皆さんは三光丸(さんこうがん)という胃腸薬をご存知でしょうか?「あああの五角形の袋に入ったクスリ」と答えた方は、なかなかの置き薬通(つう)とお見受けします。

奈良県南部の御所(ごせ)市に、三光丸本店という配置薬の製造会社があり、ここでは敷地内に「クスリ資料館」を開設し、県の葉薬に関わる資料を蒐集・展示しています。筆者はそこで館長を勤めさせていただいておりますが、今回は当館が所蔵する資料の中から、上越市と配置売薬(置き薬)にかかわりの深いものを紹介しましょう。

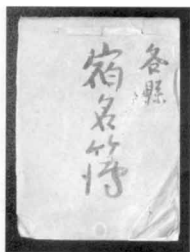
陳列ケースに並べられた展示物は、普段は黙して何も語りませんが、ときとして生き生きと光を放ち、何かを雄弁に語りかけてくれることがあります。

表紙に『各縣宿名簿』と手書きで記された帳面を紐解くと、以下のような旅館の一覧が目に入ります。

新潟縣	
中頸城郡 直江津町	駅前 木南屋宿
中頸城郡 湯町	八木宿
中頸城郡 柿崎村	元間屋宿
中頸城郡 吉川村	大字原野町 吉田宿
中頸城郡 黒岩村	大字和合 榎屋宿
中頸城郡 吉川村	大字泉谷 大原屋宿
中頸城郡 保倉村	大字青野十文路
田中屋宿	
中頸城郡 上枚村	大字岡田 界屋宿
中頸城郡 高土村	大字大口 渡辺宿
中頸城郡 柳池村	大字棚田 松田屋宿
中頸城郡 新井町	上越館
中頸城郡 鳥坂村	大字除戸 峯村宿
中頸城郡 関山村	岡本宿

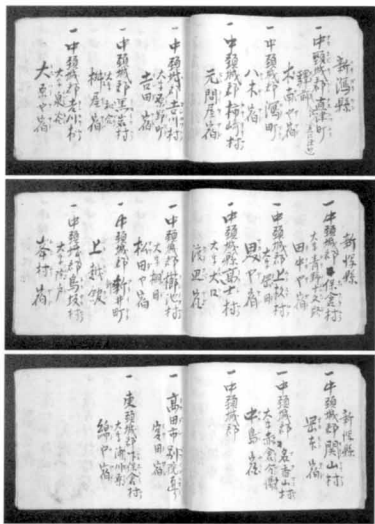
中頸城郡 名倉山村 大字赤倉分湯 中島宿  
高田市 別院通り 宮田宿  
東頸城郡 下保倉村 大字浦川原 綿屋宿

これは大正く昭和初期の資料で、三光



丸の配置員が宿泊してもよい宿屋を列記した名簿です。もともと配置売薬は信用を重んずる商売ですが、特に三光丸本店では「顧客との応対は丁寧かつおたやかを旨(むね)とし、人品、職業、貧富あるいは親密の度合いによつて差別してはいけない」旅館では礼儀作法に留意し物見(遊山)の宿泊でないことを意識すべし、「廻商地で災害があったときはできるだけ早く駆けつけて救助活動を行なう」など誠実・勤勉を重視し、行商人の模範となるよう、言葉遣いから立ち振舞いにいいたるまで厳しく指導していたようです。

上記の資料は、「安さにとまわされず、



信用のおける格上の宿に泊まること」という内規によって作られたものと思われ  
ます。

甲信越から東北・北海道にかけては、明治のはじめから配置売薬が盛んでしたが、特に新潟県は三光丸にとって聖地ともいえる地域でした。

粘り強さ、人のよさ、安定性といった県民性が配置のシステムと適合したせい  
か、古くからのお得意が多く、中でも上越市は抜きん出た『上得意』となつてい  
ます。

「そういえば年に一度か二度、柳行李（やなぎ）おりを担いだ配置の小父さんがやってきて、よく紙風船をもらった」という記憶をお持ちの方も結構いらつしやるかと思えます。

ぜひ一度、資料館をお訪ねください。詳しくは、ホームページをご覧ください。  
<http://www.sankogan.co.jp/>

<http://www.sankogan.co.jp/>

(注) 浅見さんは「夫婦で歩く大和の隠れ寺」の著書であり、孝子夫人は直江津出身、四国八十八ヶ所、西国三十三ヶ所の公認先達として活躍されています。こんな縁で昨年のJネット近畿地区サロンにご夫婦で参加していただきました。

